

令和8年2月12日 長野県埋蔵文化財センター

やぶのこし 藪越遺跡 発掘だより No.3

(令和7年度 第1号)

藪越遺跡の調査成果

長野県埋蔵文化財センターは、国道153号の道路改築事業に先立ち、令和4年度から飯田市^{やぶのこし}藪越遺跡（飯田市上郷飯沼3406-1）の記録保存を目的とする発掘調査を実施しました。今年度は6月から作業を開始し、調査は12月中旬まで実施しました。

藪越遺跡は天竜川右岸の低位段丘面上（下段）、天竜川支流の栗沢川の左岸に位置しています。

藪越遺跡の周囲には^{たかやいせき}高屋遺跡や^{しばざきい}芝崎遺跡、^{きたうら}北浦遺跡の他^{いぬまでんじんつか}国史跡の飯沼天神塚（^{うん}雲彩寺）古墳があります。

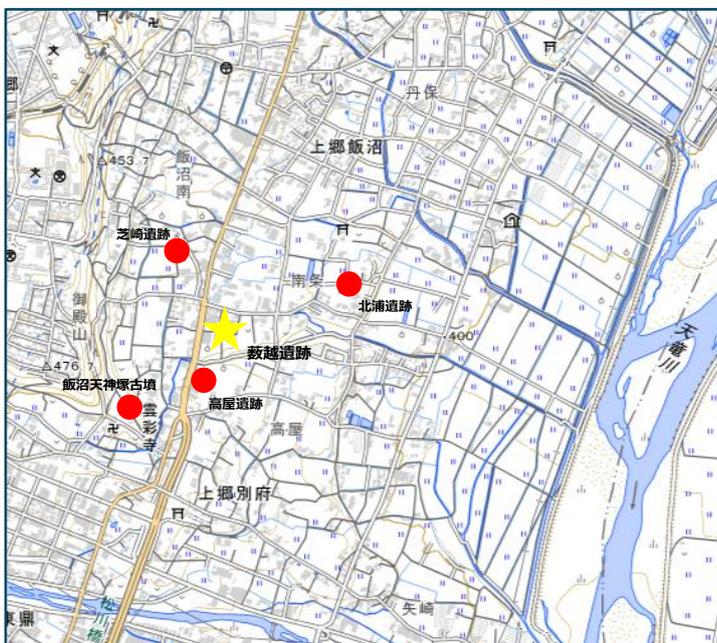


図1 遺跡の位置（地理院地図に加筆）

「礎石」を持つ大型竪穴建物跡

調査区の北側では「礎石」をもつ^{そせき}竪穴建物跡（写真1）がみつかりました。

通常の家は床に穴を掘って柱を立てますが、この建物には柱を載せるための石「礎石」が置かれていました。壁沿いにも礎石を並べています。



写真1 礎石をもつ竪穴建物跡

「こも編み石」の出土

礎石をもつ建物跡のすぐ隣の竪穴建物跡（SB24）からは、細長い形の石が固まって見つかりました（写真2）。これは「こも^あ編み石」と呼ばれる、ムシロなどを編む際の重りです。



写真2 こも編み石

家族で集まって編み物をしていたのかな？



カマドに供えられた土器

竪穴建物跡（SB13）のカマド周辺からは、割れずに残った土器が重なるように見つかりました。

使い古して捨てられたのではなく、この家から引っ越す際に、カマドを仕舞うための儀式で用いられたと考えられます。



写真3 カマドに供えられた土器

現場公開開催

12月3日（水）・4日（木）の2日間、現場公開を開催しました。15名の方にご来場いただき、実際に出た建物の跡や土器を公開しました。

調査研究員が直接解説を行い、地域の歴史を学んでいただく貴重な機会となりました。



写真4 現場公開の様子

今年度の発掘調査にご協力いただき、ありがとうございました。

来年度も菟越遺跡の調査は続く予定です。

引き続き皆様のご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

長野県埋蔵文化財センター 飯田支所

〒395-0151 飯田市北方 297-5

電話：0265-49-0736

メール：maibun@naganobunka.or.jp

H P：<https://naganomaibun.or.jp/>

担当：関/島田